

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェント
	オプショナル			年齢	26	性別
覚醒	探求	衝動	破壊	初期侵食率		49%
出自	資産家	経験	転属	邂逅	奇妙な旅仲間	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	13
感覚	1	1	0	4		6	(非装備時)	16
精神	4	0	0			4	戦闘移動	21
社会	1	0	0			1	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	35	19	RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	2	1	調達	16	
運転:パストラル			芸術:			知識:機械工学	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
チェーンガン	射撃	8r+53	-	15		《ウェポンマウント》搭乗時のみ装備可能、同一エンゲージ不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
フォールヴァークル(運転:パストラル)		13		-3	攻撃力:13/全力移動:300m 搭乗時あらゆる判定ダイス+1

所持品		合計装甲:		合計回避:	
《ブラックマーケット》		13		0	
ウェポンケース					
乗組員証(思い出の一品)					
チェーンガン					
照準器					
プラチナムナビ					
ディシプリングアクト					
エブリシングレディ					
マスターズコネクション					
チェーンガン					
最大財産P:	34	残り財産P:	1		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ポルターガイスト	★	4	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果:	シーン間攻撃力+[選択武器の攻撃力]、武器破壊							
クイックモーション	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	マイナー行動を1つ行う、[LV]回/シーン							
コンセ:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[LV](下限7)							
バリアクラッカー	2	4	メジャー	武器	-	対決	80	
効果:	G値・装甲値無視、[LV]回/シナリオ							
零距离射撃	1	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	判定ダイス+[LV]、至近不可武器も至近可能							
マルチウェポン	5	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	装備武器合計							
神機妙算	1	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	80	
効果:	範囲選択、[LV]回/シーン							
ヴァリアブルウェポン	1	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	武器[LV]個選択し攻撃力に加算							
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果:	達成値+[LV*3]、1回/ラウンド							
リフレ:ブラックドッグ	3	2	リアク	至近	自身	-	-	
効果:	C値-[LV](下限7)							
ゲッドダウン	★	2	リアク	至近	自身	対決	-	
効果:	《射撃》でドッジ							
ウェポンマウント	5	+2	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	常備化30[LV-5+5]以下のアイテムを入手、イニシで装備切り替え可能							
ハードワイヤード	5	+4	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	専用アイテム5[LV]個取得							

自立駆動型移動支部、通称パストラル支部唯一の支部員。砲術士・艦務士・通信士・機関員・甲板員・整備士と、ともかく何でもこなす完全雑用係。ただしやる人間がいらないからやっているだけで、何でもできる訳ではない。電機系統は苦手であるし、機関は半自動で運行するため、運行中は艦務士・通信士としてレーダーや目視で進路の確認、戦闘時は砲術士として妨害排除、停泊中は甲板員・整備士としてパストラルの整備・清掃と航行中も停留中もやることしかない。本職は機械技師。

もう一人の乗組員であり艦長でもある支部長・“ストレイジープ”灰崎律とは稼働初期からの仲である。厳しい上司であることに間違いはないし、なんなら尻に敷かれているが、嫌いじゃない。その関係を崩したくないと思っており、相手もその気なんて全くないことは分かっている、自身の彼女に対する感情は秘めたままにしておくつもりである。ただし人の出歯亀はするし御節介も焼く。人手が全く足りていないし部屋を持って余しているしで支部員が欲しいと進言し続けているのだが、乗組員の資格を獲得する試験をパスする人材が現れないので一向に増える気配がない。つらい。でもラッキーだとも思ってる。

パストラルは自立駆動を行う性質があり、国境も陸空海も問わず航行できる。その航路は常に難事件のある方向で到着してみないとどこへ向かったのか分からないことが殆ど。事件を解決するまで停留することなく稼働し続ける性質があり、停留する条件は安全制御装置(後述)である。泉総一郎が搭乗していない場合のみである。艦長の能力で巨体に似合わず隠密行動も可能のため、それを生かして戦場の中心に特攻したり、民間人の保護を請け負ったりする。その他物資の運搬や、支のない地域や戦力不足の地点への応援も可能。しかしその特性が災いし、稼働初期段階に発生した通信機器不良で約2年間世界各地を彷徨い、最終的に半ば都市伝説と化した頃に南極で発見されるまで忘れ去られていた。現在は諸々回復し、通常通りの運用となっている。

パストラルの乗組員として登録される前は、UGNに多額の出資をしている大企業の息子と言うことで親の七光りを存分に振りかざしていたため、バカ息子の機械技師として悪名が知れ渡っており、取り巻きはいれど友達はいなかったのだが、乗組員となり尻に敷かれながら激務に追われるうちにかなり丸くなった。パストラルの一部も実家の資産で出来ており、開発にも携わっていたため艦長の知らない機能も把握している。彼女が分厚い説明書を読まないからとも言うのだが。

